



協会レビュー 2017 年第 1 号

トピック・コラム 「津波被害からの復興まちづくりガイドンス」の紹介

平成 28 年 6 月に、国土交通省が「津波被害からの復興まちづくりガイドンス」を公表しています。本号では、このガイドンスについて簡単にご紹介します。(編集部 藤野)

1. ガイドンスの概要

「津波被害からの復興まちづくりガイドンス」は、主として南海トラフ地震における被災が想定される市町村を対象に、大規模な津波災害発生時において早期回復を実現するため、東日本大震災からの復興まちづくりから得た知見・教訓を整理し、復興まちづくりの各段階において想定される課題と事前準備を含めた対応方法を取りまとめたものです。

学識経験者、被災した県・市町の職員、UR 都市機構等を委員とする委員会において、平成 26 年度から 2 カ年かけて東日本大震災の復興まちづくりが検証され、その成果をもとにガイドンスが策定されました。

2. ガイドンスの構成と特徴

ガイドンスは 4 部構成で、「第 1 部：東日本大震災からの復興まちづくりの特徴的な課題・教訓」と「第 2 部：津波被害が想定される地区における災害後の復興まちづくりに向けた事前対策のあり方」でまずガイドンス全体のポイントが示され、後半の「第 3 部：津波被害からの復興まちづくりにあたっての手順と留意事項」と「第 4 部：東日本大震災の津波被災自治体等における復興まちづくりの取組事例」では詳細な留意事項や事例が示されて、適宜参照できるようになっています。さらに、「資料編：東日本大震災の記録」として、復興まちづくりの進捗状況や主として国が実施した取組も整理されています。

全体として、現場ならではの生々しい情報もふんだんに盛り込まれながら、東日本大震災における復興まちづくりの経験が体系的に整理されており、非常に読み応えのあるガイドンスとなっ



ています。

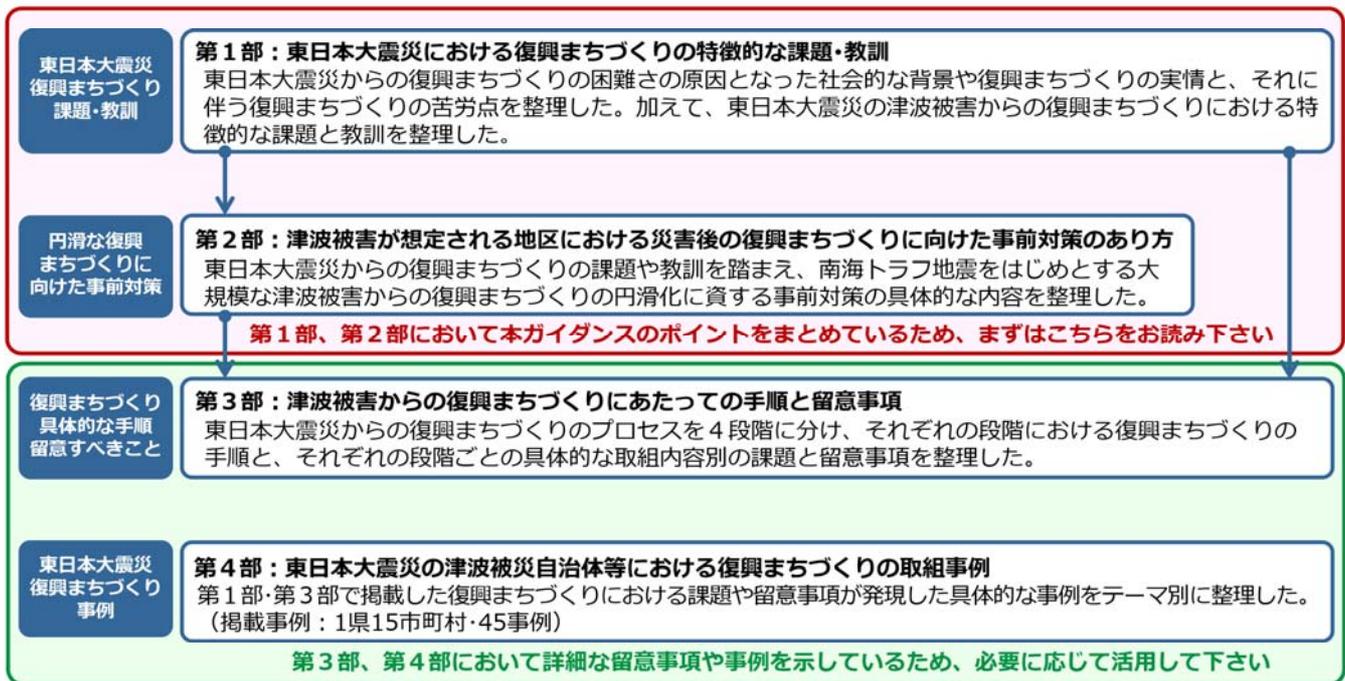
基本的には市町村または都道府県向けのガイダンスと位置付けられていますが、南海トラフ地震等の大規模地震への事前準備や発災後の復興まちづくりへの積極的な関与が期待されている都市計画コンサルタントにとっても、たいへん有益な資料であり、ぜひご一読をお勧めします。

※ガイダンスは下記のホームページでダウンロードが可能です。

http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_tobou_fr_000027.html

ガイダンスの全体構成

主として南海トラフ地震における被災が想定される市町村を対象とし、大規模な津波災害発生時において**早期回復を実現するために、東日本大震災からの復興まちづくりから得た知見・教訓を整理し、復興まちづくりの各段階において、想定される課題と事前準備を含めた対応方法**についてまとめた。



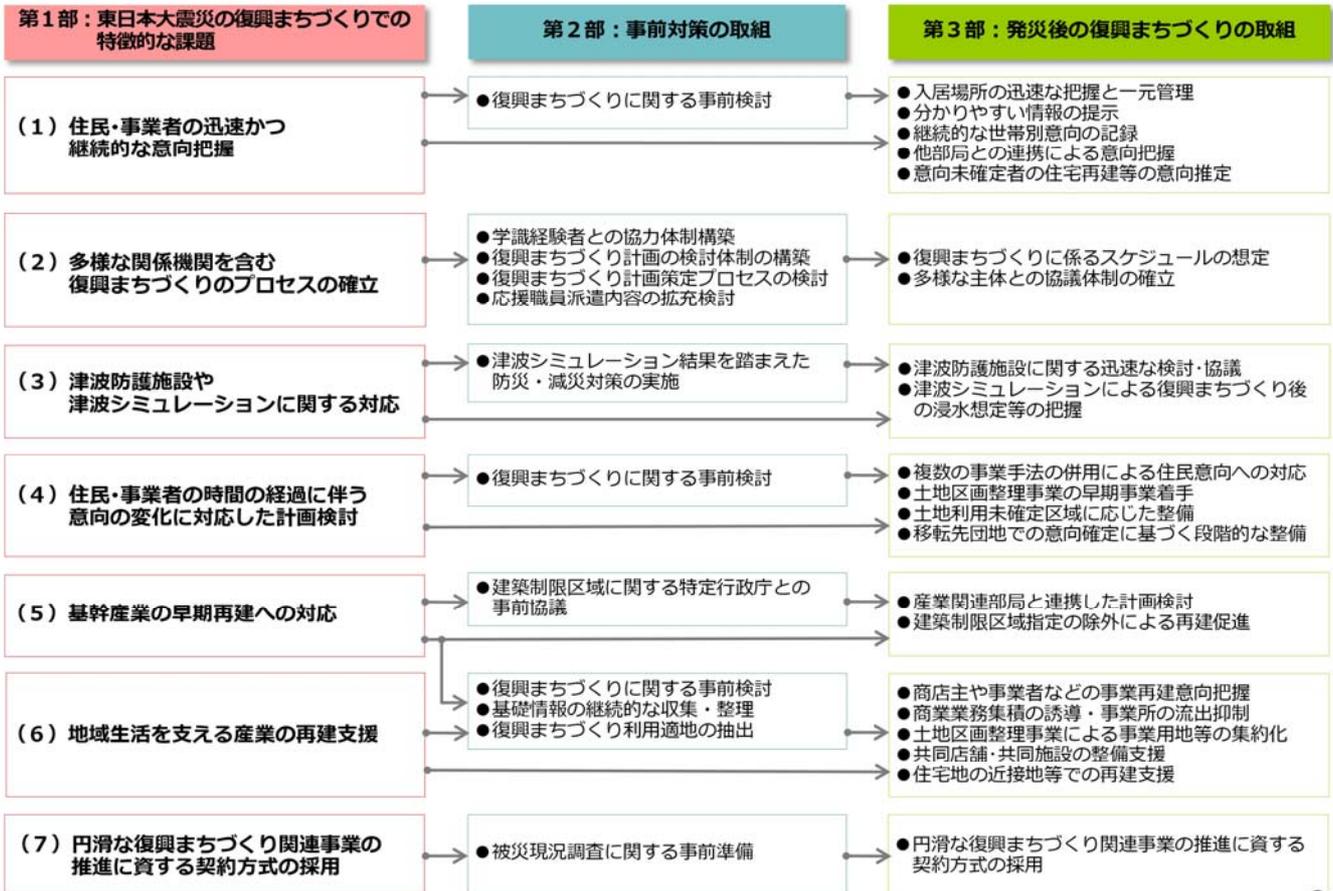
資料編：東日本大震災の記録

東日本大震災からの復興まちづくりの進捗状況ならびに、復興まちづくりに際して主として国が実施した取組を整理した。

出典：国土交通省資料



第1部～第3部の内容



2

出典：国土交通省資料

協会レビュー 2017年第1号(平成29年1月発行)

発行元 一般社団法人都市計画コンサルタント協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目二番一八号 ハイソニュー平河3F

Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail info@toshicon.or.jp

Website <http://www.toshicon.or.jp/>

編集責任者 須永和久